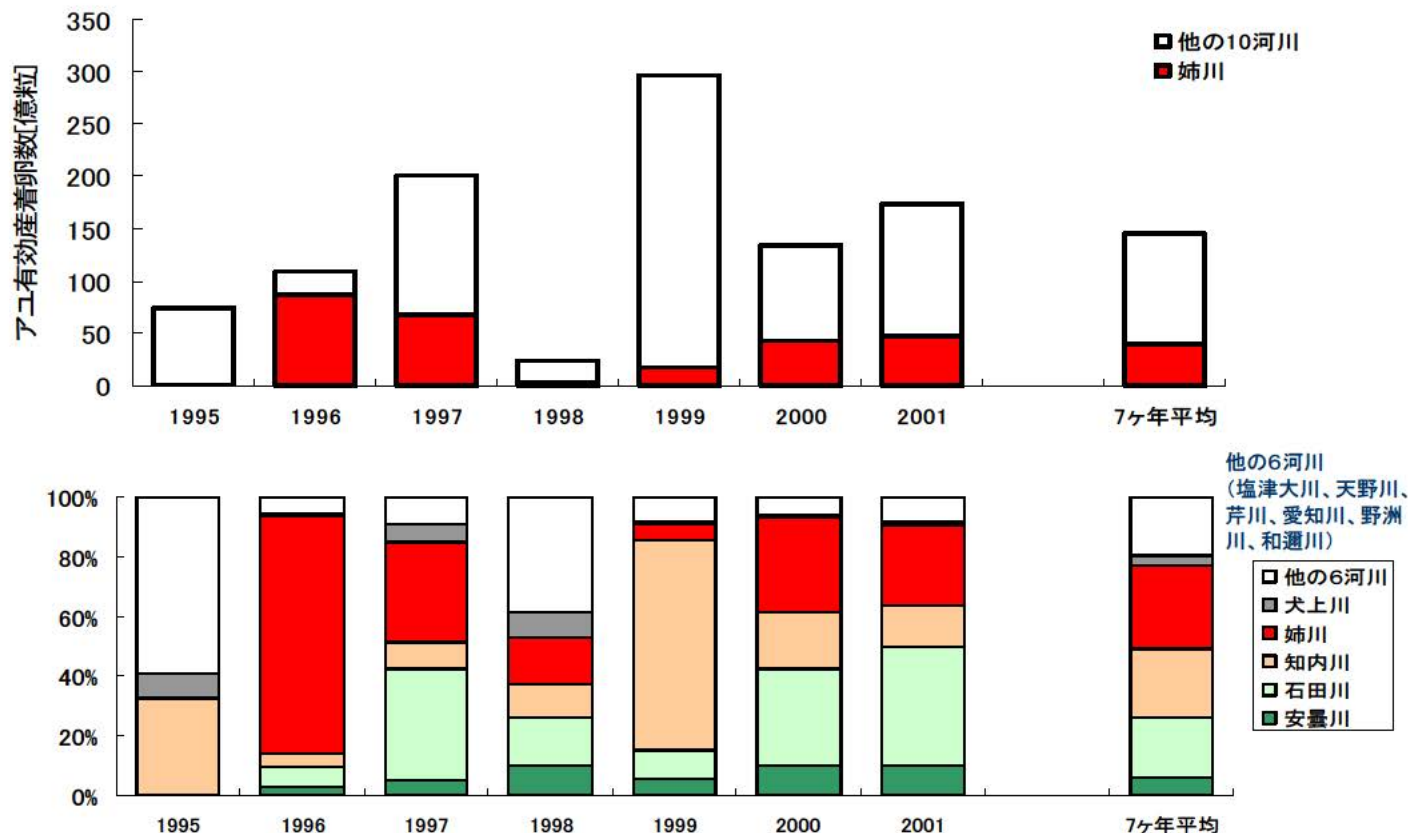


姉川のアユ産卵量

アユ有効産卵量と河川別比率



出典: 滋賀水試「コアユ資源予測調査」

数ある琵琶湖の流入河川のうち、アユの産卵量は、姉川が占める比率は25%程度と大きいです。

姉川のマス漁獲量

最近5カ年の琵琶湖における姉川および姉川周辺の寄与率

単位：％(年度)

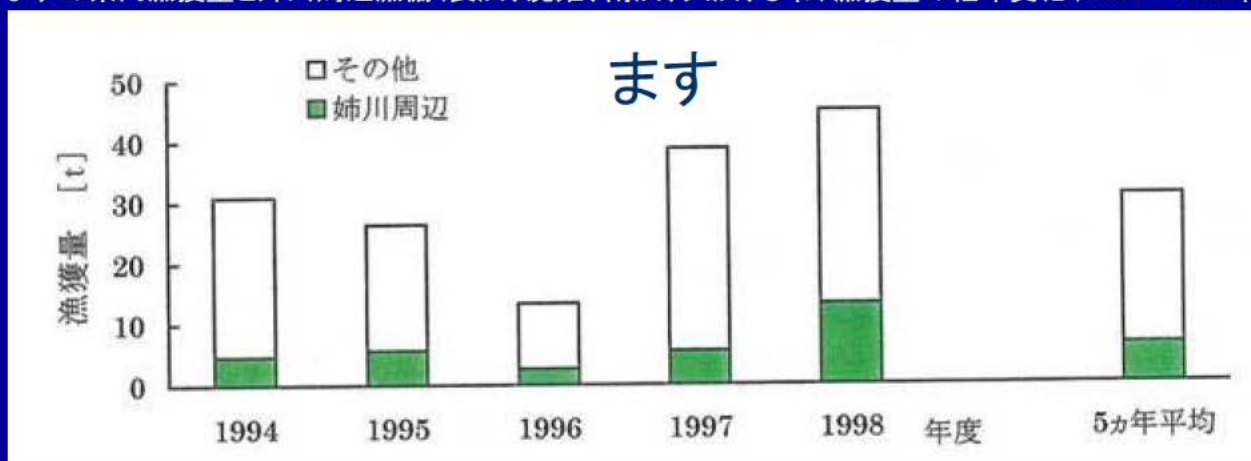
項目	1994	1995	1996	1997	1998	1999 5カ年平均	備考
アユ有効産卵量		0.1	79.6	33.4	15.8	5.8	24.8 滋賀水試
漁獲量							
活あゆ	10	19.3	7.1	20.2	34.3	17.4	漁連統計
小あゆ	0.4	7.4	1.8	6	6.3	5	
あゆ(計)	5.5	13.7	5.4	10.4	18.1	10.9	
にごろぶな	-	-	-	-	0.5	0.5	南浜、びわ
その他ふな	-	-	-	-	4.5	4.5	南浜、びわ
ふな(計)	5.6	3	8.5	13.3	3.4	6.5	
ます	15.1	21.4	19.5	14.3	29.4	20.5	
ほんもろこ	0	0	0	0.1	0	0	びわ
いさざ	0	0	0	0	0	0	
総漁獲量	3.5	8.8	2.5	6.5	10.1	6.2	

注)アユ有効産卵量の比率は、姉川／調査した11河川合計
 漁獲量の比率は5漁協(長浜、虎姫、南浜、大浜、びわ)／琵琶湖全体

[出典：漁連統計]

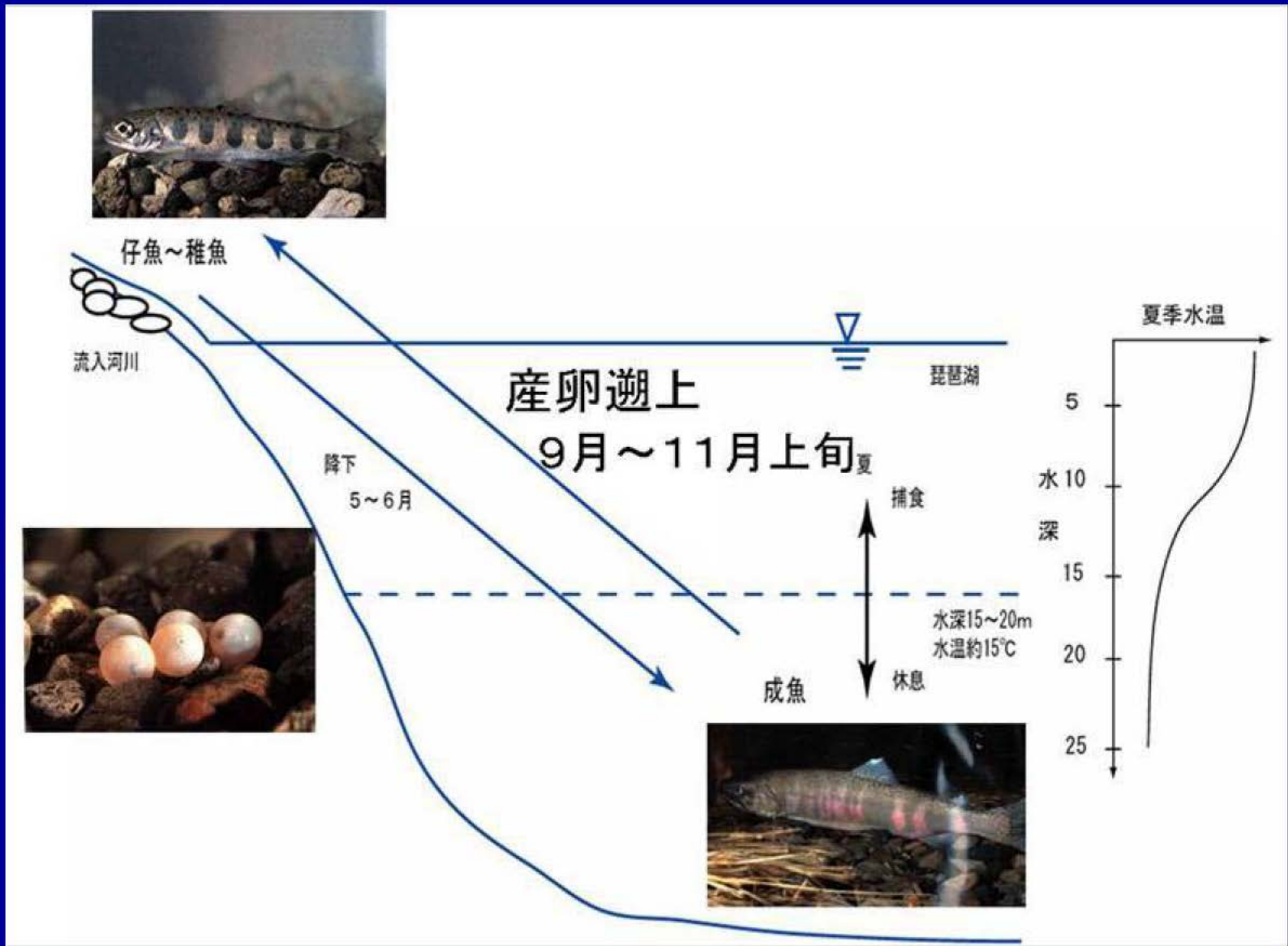
上記のますの表現は、主にビワマスと考えられる

ますの県内漁獲量と姉川周辺漁協(長浜、虎姫、南浜、大浜、びわ)漁獲量の経年変化(1994～1998年)



ビワマスの比率も、姉川は大きいです。

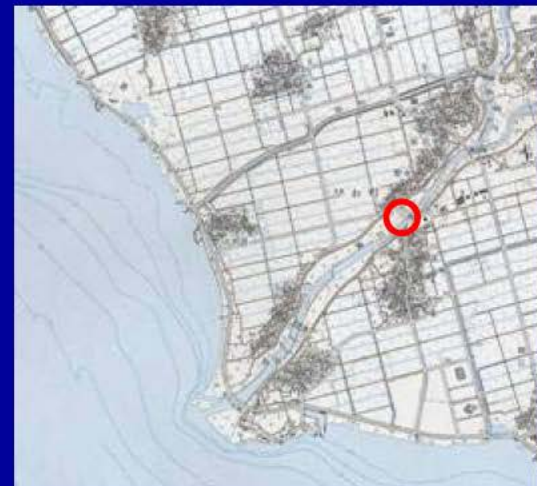
ビワマスの生活史



ビワマスの産卵状況



H14.10.31 野寺橋付近での産卵行動



・姉川では、ビワマスの産卵が確認されています。

保護水面区域

禁止期間 9月1日～11月30日

保護の水産動物

アユ



ウグイ



ビワマス



ハス



写真:日本の淡水魚 ~山と溪谷社~

高時川・姉川は大規模なアユの産卵場です。



瀬切れ

高時川では、流水が覆没する「瀬切れ」が、毎年のように河口から約13kmの区間で発生しています。



錦織橋付近(平成2年8月21日 建設省撮影)

瀬切れの発生の実態

平成8年(1996)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	瀬切れ日数
				■	■	■	■	■	■	■	■	81日

平成9年(1997)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	瀬切れ日数
				■	■	■	■	■	■	■	■	105日

平成10年(1998)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	瀬切れ日数
				■	■	■	■	■	■			18日

平成11年(1999)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	瀬切れ日数
					■	■	■	■	■	■	■	75日

平成12年(2000)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	瀬切れ日数
						■	■	■	■	■	■	82日

H8~H12
瀬切れ発生状況

■ 瀬切れ発生日



河口

水面

平成13年 6月 5日(火)の瀬切れの状況

出典:丹生ダム建設所

瀬切れの発生状況(子持ちアユの大量死)

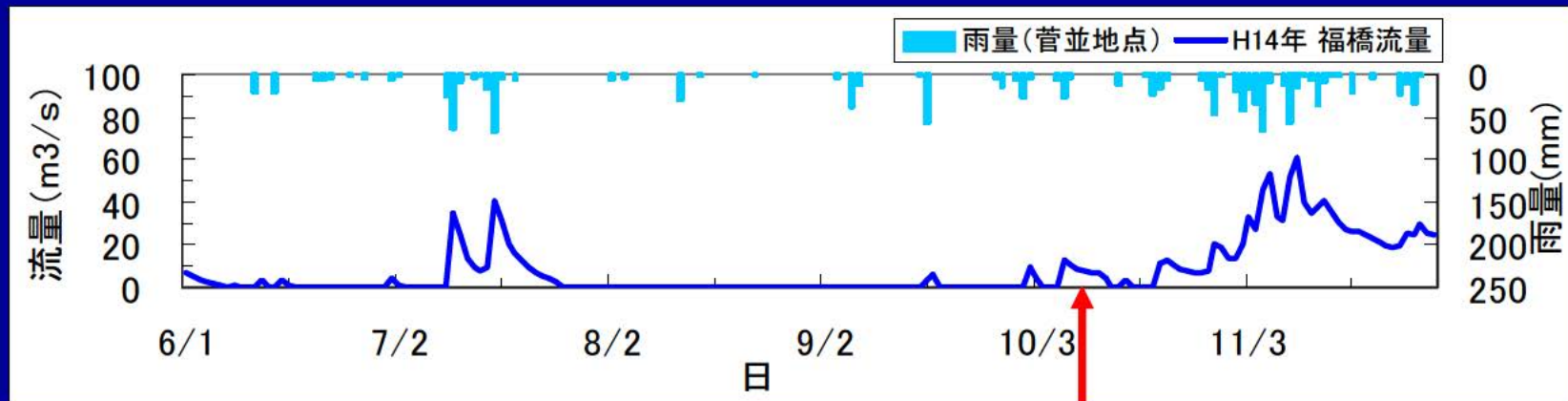


姉川・高時川 合流点付近 H14.9.24



産卵遡上期の瀬切れは、アユたちにとって致命的です。

H14年の状況



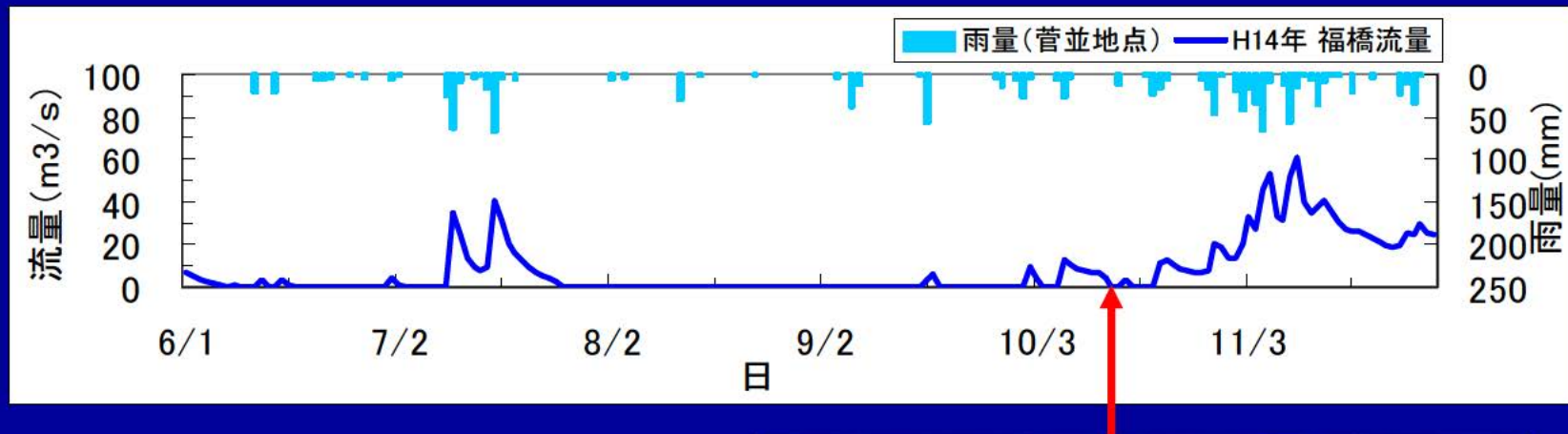
H14.10.9 びわヤナ アユ遡上



姉川河口付近 アユ遡上状況

一時的な降雨により瀬切れが解消された瞬間です。

H14年の状況



びわやナ アユ斃死状況



H14.10.13 びわやナ

4日後には、また瀬切れが発生し、アユが斃死しました。

瀬切れを生じない河川流量

現地調査の結果、井明神橋(高時川頭首工直下流)地点の流量が約 $2.5 \sim 3 \text{ m}^3/\text{s}$ を下回ると、下流で瀬切れが発生すると推定されます。



瀬切れなし(H11. 7.12)
井明神橋地点流量 約 $5 \text{ m}^3/\text{s}$



瀬切れ発生(H11. 8. 6)
井明神橋地点流量 約 $1.5 \text{ m}^3/\text{s}$

